明治25年3月25日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2018

2025年 大阪万博

MAINICHI
毎日新聞
11月24日（土）
2018年（平成30年）
発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251　電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

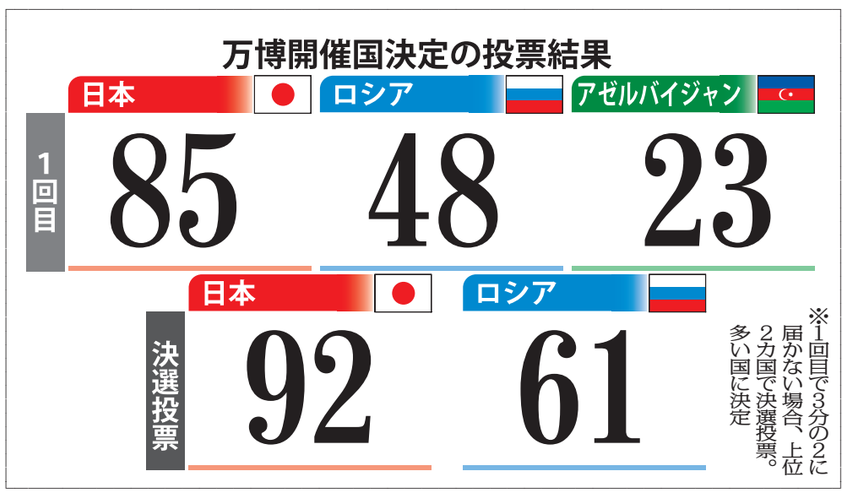
号外

55年ぶりの2度目

2025年万博の大阪開催が決まり、喜ぶ世耕弘成経産相（前列右から4人目）や大阪府の松井一郎知事（同2人目）ら日本の誘致関係者＝パリのOECDカンファレンスセンターで23日、幾島健太郎撮影

【パリ津久井達】政府が大阪誘致を目指す2025年国際博覧会（万博）の開催国を決める博覧会国際事務局（BIE）の総会が23日にパリで開かれ、BIE加盟国による投票の結果、日本がロシア（開催地エカテリンブルク）とアゼルバイジャン（同バクー）を破り、開催国に選ばれた。大規模な万博の国内開催は05年の愛知万博（愛・地球博）に続き3回目。大阪での開催は1970年以来で、55年ぶりとなる。

現地時間で23日午前に始まった総会ではアゼルバイジャン、日本、ロシアの順で立候補国が最終のプレゼンテーションに臨んだ。その後、加盟国による無記名投票で日本が開催国に決定。初開催を目指した両国を退けた。総会に出席し、投票結果を確認した誘致委員会会長の榊原定征・経団連名誉会長や、同会長代行の大阪府の松井一郎知事らは歓喜の声を上げた。



2度目となる大阪万博は大阪市此花区で、埋め立て途中の人工島・夢洲（ゆめしま）が舞台となる。開催期間は5月3日～11月3日の185日間。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、長寿時代の豊かな人生の送り方や持続可能な社会システムなど世界に共通する課題解決に挑む。2800万人の入場者を見込み、国は1・9兆円の経済波及効果を試算している。

大阪府・市は24年にも隣接地にカジノを含む統合型リゾート（IR）の開業を目指している。松井知事は「万博とIRでベイエリアを開発し、東京五輪後の日本経済をけん引する」と大阪経済の起爆剤として期待している。

世界びっくりさせる

松井知事

松井知事は大阪開催決定を受け、「世界がびっくりするような万博にしたい」と意気込みを語った。世耕弘成経済産業相も「成功させるよう頑張る」と記者団に笑顔をみせた。

詳しくは毎日新聞をお読みください

毎日新聞ご購読の申し込みは毎日お客様サービスネットへ
mainet
ご購読、ご試読の申し込み
未配達時のお届けなど
https://mainet.ne.jp/
フリーダイヤル 0120-468012（ヨムハマイニチ）
毎日新聞ニュースサイト
https://mainichi.jp/